

# 市民と議会の意見交換会 報告書

平成 29 年 7 月 23 日（日）開催



I. 市民と議会の意見交換会の概要	.....	1
II. テーマごとの質疑・意見【要旨】	.....	2
III. 参加者アンケートの結果	.....	15

**長野市議会/意見交換会実行委員会**

# I. 市民と議会の意見交換会の概要

1. 主 催 長野市議会
2. 日 時 平成29年7月23日（日）午前10時～正午
3. 場 所 長野市役所第二庁舎10階・講堂及び会議室201・202・203

## 4. 内 容

①開会あいさつ…市川和彦 意見交換会実行委員会副委員長

②議長あいさつ…小林義直 議長

③意見交換テーマの説明

◆テーマ1：公共施設の在り方について

～人口減少時代における公共施設マネジメント～

公共施設の在り方調査研究特別委員会・・・・・・・・・・・・・・・・小林秀子委員長

◆テーマ2：人口減少対策について

～持続可能なまち「ながの」を目指して～

総合計画等調査研究特別委員会・・・・・・・・・・・・・・・・松木茂盛委員長

◆テーマ3：中心市街地と中山間地のまちづくり

～バランスある長野市の発展のために～

まちづくり対策特別委員会・・・・・・・・・・・・・・・・三井経光委員長

◆テーマ4：農業の多様な担い手の確保と育成

～持続可能な魅力ある農業にするために～

農林業振興対策特別委員会・・・・・・・・・・・・・・・・望月義寿副委員長

④意見交換の進め方説明・・・・・・・・寺沢さゆり 意見交換会実行委員会委員長  
(テーマごと各会場へ移動)

⑤テーマ別 意見交換

◆テーマ1：公共施設の在り方について・・・・・・・・・・会議室 203

◆テーマ2：人口減少対策について・・・・・・・・・・会議室 202

◆テーマ3：中心市街地と中山間地のまちづくり・・・・・・・・講 堂

◆テーマ4：農業の多様な担い手の確保と育成・・・・・・・・会議室 201

5. 参加者 49人の市民の皆様にご参加いただきました。  
手話通訳、託児の利用者はいませんでした。

＊今年度は過去4回の議会報告会から開催形式を見直し、特別委員会ごとにテーマを決めて意見交換会形式としました。特に参加者からの意見を聴取することを中心にしました。各テーマ別会場の運営については、特別委員会の話し合いにより、司会、記録など役割分担を決めました。



## Ⅱ. テーマごとの質疑・意見【要旨】

●意見交換会で出された質疑・意見、それに対する今後の対応について、報告します。質疑・意見は要約してあります。

### ◎公共施設の在り方について ～人口減少時代における公共施設マネジメント～ 【公共施設の在り方調査研究 特別委員会】

市民参加者：9人

出席議員：小林 秀子・北澤 哲也・山本 晴信・池田 清・塩入 学  
小泉 栄正・佐藤 久美子・松井 英雄・高野 正晴

#### 市民参加者①【若槻地区】

- ・公共施設マネジメントでは、施設の維持管理費に関する算定は行われているのか。また、公共施設の床面積20%減を提示しているが、削減した時の維持管理費はどのようになるのか。現在使われていない公共施設はいくつあるのか。

#### 小泉栄正 議員

- ・年間の改修・更新費用は、40年間の試算で年間約146億5千万円。その費用が出せないで、この問題が始まった。全施設の年間の維持管理費、遊休施設については、手元に具体的資料がない。

#### 小林秀子 委員長

- ・各施設の維持管理費は、各課で施設を持っていて、この建物に幾ら掛かるといのはなかなか現れてこない。私たちは、老朽化等に係る改修・更新費用をベースに考えいる。

(A. 後日担当課に確認。「公共施設白書で年間の建物維持管理費の総額を示しているが、床面積の縮減による維持管理費の減少については試算していない。

施設をどのように縮減するか目処が立たないと試算は困難と考えている。床面積 20%減は、本市の人口減少や他自治体と比較した施設量を勘案し、当面の対応として算出した目標値。使われていない公共施設（遊休施設）は存在するが、様々な状況がある（学校であれば、閉校・休校だけでなく、一部の教室が空いている場合もあり、逆に休校の体育館や教室などを地域住民が利用している例もある）。そのため、使われていない施設についてはお答えできない。」)

#### 市民参加者②【若槻地区】

- ・ 受益者負担の適正化の観点から公民館が有料化になった場合、市は子育て支援すると聞いている中で、問題ではないか。受益者負担もあるが、アンケートをどの程度に聞いたのかと思う。

#### 市民参加者③【芹田地区】

- ・ 施設総量の削減と質の向上という基本的なことには賛成。しかし、福祉施設の運営に関しては指定管理が多く、サービスの質の低下を感じる。法人間のサービスの格差が是正されるようお願いしたい。
- ・ 指定管理と PFI 事業の違いについて教えてもらいたい。

#### 小林秀子 委員長

- ・ PFI 事業は、民間資金を活用して建物を建設する手法。湯～ばれあは、その後の運営も任せていると思う。福祉分野として指定管理というものもいろいろとあるため、サービスが上がるように市に伝えていきたい。

#### 市民参加者④【芋井地区】

- ・ 芋井小学校は現在、全校児童が 21 人、中学校は既に閉校。小学校では、教室の有効利用という観点から保育園との複合化も提案されている。これがうまくできるか、ソフト面での共存はまだ課題が別にある。ただ、これからの長野市の状況を見ると、公共施設の面積減少対策は仕方がないと考える。

#### 市民参加者⑤【篠ノ井地区】

- ・ 篠ノ井支所及びホールの複合施設の整備が始まっており、その一連で、図書

館整備に関する課題が提示されているが、住自協では場所の選定について決めつけた考え方があるように感じる。市民合意の形成過程に課題があるのではないか。

- ・オリンピックスタジアム、U スタジアム等について収益性を含め、有効活用を図るための手法を検討すべきではないか。

### 山本晴信 議員

- ・篠ノ井地区の公共施設について、ワークショップも計画されている。ぜひ御参加いただいて地域の意見を集約し、地域としての方向性付けをする。そのために多様な方々が参画して、いろいろな意見の中で、収束を見ていくということが、地域の合意形成なのかなと考える。様々な機会に意見を述べていただきたい。
- ・施設の有効活用については、様々な条件・課題があるが、これからは複合化・収益性・売却等が求められ、地域にとってどういう選択がよいのかが大切な要素だと思う。利便性に合わせて、複合化・多機能化、そこに収益性をどう加味していくかも課題になっていくと思う。

### 市民参加者⑥【柳原地区】

- ・公民館での会合で、オリンピック施設をもっと減らすべきとの意見があった。
- ・湯～ぱれあの利用料金の値上げが行われたが、これにより利用者数が減少していると聞いている。そのようなことも考えて検討することが必要ではないか。

### 市民参加者⑦【朝陽地区】

- ・公共施設マネジメント作成の大きな要因は、人口増対策にあると感じている。
- ・縦割りの中でも話し合っ結果を出して欲しい。

### 市民参加者⑧【若穂地区】

- ・少子・高齢化が、公共施設を取り巻く諸課題の元であると考え。高齢者の多い中山間地域は、集まれる場所として公共施設はある程度必要。
- ・オリンピック施設の有効活用を含め、公共施設の収益性も考えるべき。

### 市民参加者⑨【朝陽地区】

- 先進地である大阪の豊中市の公共施設マネジメントは、どのようになっているのか。  
公共施設が減ることで、ある程度行政連絡区の統合などの考えがあるのか。

### 小林秀子 委員長

- 豊中市には2年ほど前に視察に行った。  
長野市は各施設を各課が所管しているが、豊中市では統括の部がしっかりと維持管理を全体でやっている仕組みが先進的であった。土地の有効利用についても売却や跡利用等が大きな枠組みの中で考えられていた。長野市では大きなくりの中で考えられるところがないのが現状。  
これからは縦割りから、地域ごと、長野市全体の施設をどう市民のために有効活用していくかということをもマネジメントできる経営戦略のようなものが必要ではないかということも学ばせてもらった。
- 行政連絡区の統合については、そこまでの話は出ていない。

### 市民参加者⑩【若槻地区】

- 公民館で交流を深めて活動しているところもある中で、ただ、面積だけを見て廃止とかいうのはやめてほしい。
- 施設について話をする際は、有識者だけでなく、地域の意見を聞いてほしい。

### 市民参加者⑪【芹田地区】

- 公民館については、誰もがどこでも利用できるよう情報の提供を行うべきではないか。

### 市民参加者⑫【若槻地区】

- この委員会でも公共施設の現状について現地調査を行った上で検討を進めるべきではないか。

### 市民参加者⑬【若穂地区】

- 公共施設を単純に平準化することで、かえって使い勝手が悪くならないよう

に。地元の利用状況等も検討する必要がある。

- 公共施設の利用に当たって公共交通の利便性や充実についても検討する必要がある。
- 小学生も減少傾向にあるが、教室の活用についても検討すべき。学校施設の利活用に関する明確な方向付けも必要。

### 【特別委員会の今後の対応】

人口減少時代、老朽化した公共施設の統廃合には御理解いただいているようではありましたが、個別施設ごとの維持管理費の把握の必要性、地域施設と広域施設を含めた議論が混在されている現状において広域施設の議論を先行させる必要性、収益性も含めたオリンピック施設の有効活用、学校施設の利活用に関する明確な方向付け、また公共施設の再編はまちづくりでもあり、住民のアクセスのしやすさなど、公共交通の充実も含めて考えてほしいなど、大変示唆に富んだ有意義な御意見を頂いた。

後日、本特別委員会を開き、皆さまから頂いた御意見に関して議論した結果、改めて全市的な情報発信と十分な市民への説明のもと、広い視点を持った合意形成の取組が必要であり、またソフト面も含めた施設の適正化を図ること等が重要であると考えことから、市に対し、市民への適切な情報の発信と共有を図り、丁寧な説明のもと、施設の適正管理に向けた取組を推進するよう求めるとともに、広域施設の議論の在り方、学校施設の在り方の審議などを注視し、調査・研究を進めていきます。

**◎人口減少対策について**  
**～持続可能なまち「ながの」を目指して～**  
**【総合計画等調査研究 特別委員会】**

市民参加者：11人

出席議員：松木 茂盛・若林 祥・近藤 満里・手塚 秀樹・市川 和彦  
宮崎 治夫・滝沢 真一

**市民参加者①【三輪地区】**

- ・全国同様の悩みであり、長野市だけ人口を増やすことはありえない。
- ・観光産業で人口を増やし増収を図り、市民生活を守ることが重要であり、力を入れる分野である。

**市民参加者②【浅川地区】**

- ・若者の市内就労を支援する対策が必要。仕事の手が足りないため若者は帰ってこない。企業誘致が必要。高齢者よりも若者を優先に目を向ける。

**市民参加者③【大豆島地区】**

- ・長野は自然や文化・歴史等々、イメージが良いので住みやすくPR出来るが、自然以外の魅力に欠ける。イメージということでは、ファッションの東京、元気な大阪、古き町並みの京都があり、若者はそれに惹かれる。

**市民参加者④【信州新町地区】**

- ・宮城県出身。日本全国自然の良さはどこにでもあるが長野には多くの野外活動のフィールドがある。信州新町は保育園から高校までそろっており、子供のことを考え選択した。中山間地域はそのような施設が減っており、教育機関の維持をお願いしたい。市中心部まで一時間半掛かるが、例えば、偏差値70以上のような特徴ある高校を作れば信州新町でも学生は来る。魅力のある高校作りが課題。

**市民参加者⑤【若槻地区】**

- ・仕事場の確保のため企業誘致をしてほしい。
- ・放課後子どもプランの改定で有料となるが、おかしい。若者、子育て世代への支援を考える必要がある。



### 市民参加者⑥【古里地区】

- ・多様性がないイメージだが住みやすい。田舎過ぎず都会過ぎない。
- ・公共交通機関はそれなりにあるが、駅前にショッピングなどが集中している。

### 市民参加者⑦【若槻地区】

- ・上越市出身。上越に比べて駅前は充実しており、観光地もあり、住みやすい。
- ・公共交通機関の便数が少ないので移動しづらいが、2年間住んでみて心地よい感じがする。

### 市民参加者⑧【大豆島地区】

- ・働く場所の確保のため、市長を中心に大企業の誘致をお願いしたい。
- ・出生率の低下は結婚しない人が増えて居るためである。
- ・人口増は、子供を産み育てる環境作りが重要。保育士を増やさず、三才まで母親が育てることを考えては。これには児童手当の充実と子育て後の企業への復帰が課題。社会で見守る環境が必要で、ダイナミックな政策を考えるべきで、同じようなことをしていても駄目。

### 市民参加者⑨【大豆島地区】

- ・一つのことをやれば良いのではなく、若い人が安心して将来を託せるような方策・施策を。
- ・市内の公共交通の便が悪い。
- ・住んでいて良かったと感じる社会をつくるためには、仕事、教育全てやっていかないと駄目めだ、早めに導いて欲しい。

### 市民参加者⑩【古里地区】

- ・子供が生まれないから人口が減っている。子供を産む施策が必要。男女の出会いの場を市が作る施策をお願いしたい。

### 【特別委員会の今後の対応】

いただいた貴重な御意見は、その後の委員会で報告書としてまとめ、当委員会から市に伝えるということを決定した。

それぞれの御意見は、当委員会として実施した総合計画に対する提言や委員会の中で市に要望してきた内容と重なるものもありましたが、市民の皆様が日頃感じている生の声として、改めて委員会の場で市に伝え、総合計画のうち、毎年度策定される実施計画に参考としていただくよう申し上げた。

**◎中心市街地と中山間地域のまちづくり  
～バランスある長野市の発展のために～  
【まちづくり対策特別委員会】**

市民参加者：14人

出席議員：三井 経光・勝山 秀夫・生出 光・野々村 博美・西沢 利一  
小泉 一真・布目 裕喜雄・鈴木 洋一・中野 清史

司会：勝山 秀夫 議員

- ・中心市街地のまちづくりについて、ご意見・ご要望をお聞きます。

**市民参加者①【芹田地区】**

- ・長野駅東口に住んでいる。東口開発当初は反対をしていたが、「緑が多く、小川が流れるまち、老人と子供が憩えるまちになる」という説明を聞き、住みやすいまちにするならと協力した。事業が90%進んだが、高層マンション、駐車場建設が現在も進み、更に道路拡張で住みづらいまちになってしまった。当初、示されたまちづくり構想と方向が変わってしまったのではないか。検証を行ったのでしょうか。立派な建物や新しいお店が増えるまちづくりより、古くから商売をしている人が続けていけるようなまち、日々の生活がしやすいという視点でまちづくりをして欲しい。

**市民参加者②【長沼地区】**

- ・「もんぜんぷら座」は長野市の顔。ハブ施設として位置付けるべきでは。

**市民参加者③【第四地区】**

- ・後町小学校跡地整備事業について県立大学の寮が中心であるが、来年3月から学生、教師など関係者を入れると、2,000人近くの人数が中心市街地近辺で増えることになる。寮には、食堂はない、お風呂もない。2年生時以降の学生を受け入れる住居施設が整っていない。これまで、県の議会が中心で市議会での議論がされていないのではないかと？学生、関係者2,000名を大切にしたい。何か考えがあれば教えてほしい。

**野々村 博美 議員**

- ・県立大学の寮は、二人で一部屋。風呂は無いがシャワーがある造りになっており、簡易なキッチンと16人でユニットを組んで多目的フロアを作ると聞いている。大学に食堂はあるが、寮内の食事の工夫が必要で、学生が豊かに

学べる環境を作りたい。

#### 市民参加者④【第三地区】

- ・権堂再開発、駅周辺整備など関わってきたが、中心市街地をどうしたらいいか暗中模索している。ワーキンググループにも参加したが、イトーヨーカドーの話だけで、地元商店街をどうするかなどの議論ができていない。長野市だけでなく須坂市など含み広域でまちづくりを考えるべき。

#### 市民参加者⑤【芹田地区】

- ・中心市街地と商店街の活性化イコール長野市の活性化ではない。伸びている地区、魅力のあるところを伸ばすことが長野市には大事なのでは。また、活性化には人が必要。担い手をどう育てていくべきかを一緒に考えていくべきである。

司会：勝山 秀夫 議員

- ・中山間地域のまちづくりについて、ご意見・ご要望をお聞きします。

#### 市民参加者⑥【更北地区】

- ・地域間交流で中条地区の活性化を応援している。最近、中条地区の空き家がすごく増えていると感じる。中山間地域において、移住者が増えるよう、土地を含めた空き家対策をするべきでは。

#### 市民参加者⑦【浅川地区】

- ・浅川地区は中山間地域と中心市街地近郊地域の両方が存在する特異性のある地区である。純然たる中山間地域である、中条地区、大岡地区、七二会地区などには旧役場があり、中山間地域として一体的な対応がとれる。しかし、浅川地区は市街化調整区域と中山間地域の二つの地域があり、浅川地区の中山間地域の対策は置き去りにされているのが実態ではないか。もう少しきめの細かい視点と対策が必要と考える。
- ・今後必要な対策の柱は二つ。一つ目は公共交通網の整備、二つ目はITを活用した災害情報を伝達するインフラの整備だと考える。長野市、市議会としても検討をお願いしたい。

#### 市民参加者⑧【浅川地区】

- ・先ほど中心市街地のまちづくりで、「自転車道を要望した地区は整備したが、

隣接地区は整備していない」という話があったが、市の行政として、市民のニーズに応えるのは非常に大事なこと。しかし、市の行政として一步足りないのは、行政から市民への提案、情報提供が不足していると感じる。自転車道についても要望があったところだけ設置するのではなく、「隣接地区も必要ではないか」と他の地区に提案をするような意識を職員の皆さんに持っていただきたい。

#### 市民参加者⑨【第四地区】

- 合併した中山間地域の住民が「中心市街地は自分のまち」、「長野市と合併してよかった」と思えるような施策の展開、中山間地域と中心市街地を結びつける施策を展開することが大事。例えば、中条の道の駅で売っている商品を中心市街地で購入できるようにする。それが「もんぜんぷら座」の役割かもしれない。中心市街地と中山間地域のコネクションをどうとるか考えていただきたい。

#### 市民参加者⑩【浅川地区】

- 住民自治協議会でも中山間地域との交流を行っている。中山間地域との交流イベントを継続的に行えるようにすることが大事である。

#### 【特別委員会の今後の対応】

ご参加いただいた市民より多くのご意見を頂きました。そのご意見の中から以下の事項を理事者に要望します。

- 善光寺周辺の整備、信濃美術館と善光寺を一体化したまちづくり。
- 長野駅から善光寺までの表参道（中央通り）に駐輪場の整備。
- 中心市街地において、高層マンションや駐車場の整備だけでなく、日々の暮らし、生活がしやすいという視点を持ったまちづくり。
- これから入学する県立大学の学生・関係者等、約 2,000 名を対象にした学びやすく、生活しやすい環境の整備。
- 地域活性化、まちづくりを担う人材の育成。
- 中心市街地や中山間地域だけでなく、市街地近郊地区にも目を配った、きめの細かい対策。
- 合併した中山間地域の住民が「中心市街地は自分のまち」、「長野市と合併してよかった」と思えるような施策の展開。

バランスある市の発展のため、いただいた御意見の視点を加えて、引き続き調査・研究してまいります。

**◎農業の多様な担い手の確保と育成  
～持続可能な魅力ある農業にするために～  
【農林業振興対策 特別委員会】**

市民参加者：15人

出席議員：望月 義寿・寺沢 さゆり・田中 清隆・小林 治晴・阿部 孝二  
西村 裕子・つげ 圭二・黒沢 清一

**市民参加者①【豊野地区】**

- ・長野市は果樹生産が多い。担い手確保には、販売を工夫して儲かる農業を実践すること。そうすれば若者がつられて就農する。

**市民参加者②【篠ノ井地区】**

- ・中山間地域は限界集落と化し、年金を使って維持しているのが実情。補助金頼りになっている。

**市民参加者③【中条地区】**

- ・中山間地域では機械化が難しい。後継者が不足しており、有害鳥獣も出る。財政支援をしてもらいたいが、市にも限度があると思う。

**市民参加者④【更北地区】**

- ・年間 5、6 人農業に参入すれば維持できるが、どうやって探すかが問題。農家の親自体（特に母親）が継がせないし、嫁不足。

**市民参加者⑤【若穂地区】**

- ・農家創設のバックアップが必要。農業は地域で 20 億円の生産額がある基幹産業。

**市民参加者⑥【朝陽地区】**

- ・石渡では水田がなくなった。自身で耕作できない方は委託して生産してもらっている。今後、TPPなどで価格が下がったら続けていけるだろうか。

**市民参加者⑦【長沼地区】**

- ・平坦地だが過疎化してきている。高齢化率も市内で 3 番目に高い。温暖化で

リンゴが作れなくなる。産地の見直しが必要になるのでは。

#### 市民参加者⑧【大豆島地区】

- ・西風間地区は兼業農家が多かった。アパート経営も増え、専業農家がいなくなった。農地を守る意識のある家とない家が半々。嫁が来ない。

#### 市民参加者⑨【若槻地区】

- ・専業農家は3戸。子どもの農業体験が大切。土日の1.5日農業になっている。地域で農業が話題となるよう、情報提供が重要。

#### 市民参加者⑩【浅川地区】

- ・農業の衰退は中山間地域の衰退につながる。直売所で日銭を稼ぐことが生きがいになっている。

#### 市民参加者⑪【芋井地区】

- ・意見交換会の4つのテーマはつながっている。食糧安保の視点が大切。半農半Xのような方法もある。

#### 市民参加者⑫【柳原地区】

- ・優良農地の水田は新たな道があるか。果樹はどうなるか。今まで後継者を育成してこなかった。法人化・NPOなどによる農業を行ってはどうか。

#### 市民参加者⑬【若槻地区】

- ・兼業農家だが大変。事故などで誰かが欠けたら続けていけない。

#### 阿部孝二 議員

- ・県も市も新規就農者が就労した場合、最低250万円の所得を目標にしているが、平坦地及び中山間地の実情はどうか。

#### 市民参加者⑭【豊野地区】

- ・所得で把握するのは難しい。男性45歳独身の方は、新規就農で、リンゴを中心に3アールから始め、50アールに拡大してきた。住宅は、住宅・農業倉庫などを一緒に借りられず、七瀬のアパートから通っていた。その後飯綱町に移り、ようやく100万円の収入が得られた。用意していた預金は5年でなくなる。農家子弟なら支出がなく、就農に有利。若者をグループ化して、

農業政策の学習や、JAの技術員を呼んで営農指導を受け、親睦を図っている。

#### 市民参加者⑮【篠ノ井地区】

- 中山間地域は、昔は米だけでも価格保証があって生計が取れていたが、今となっては手遅れ。極論を言えば、給料を出して維持するしかない。

#### 【特別委員会の今後の対応】

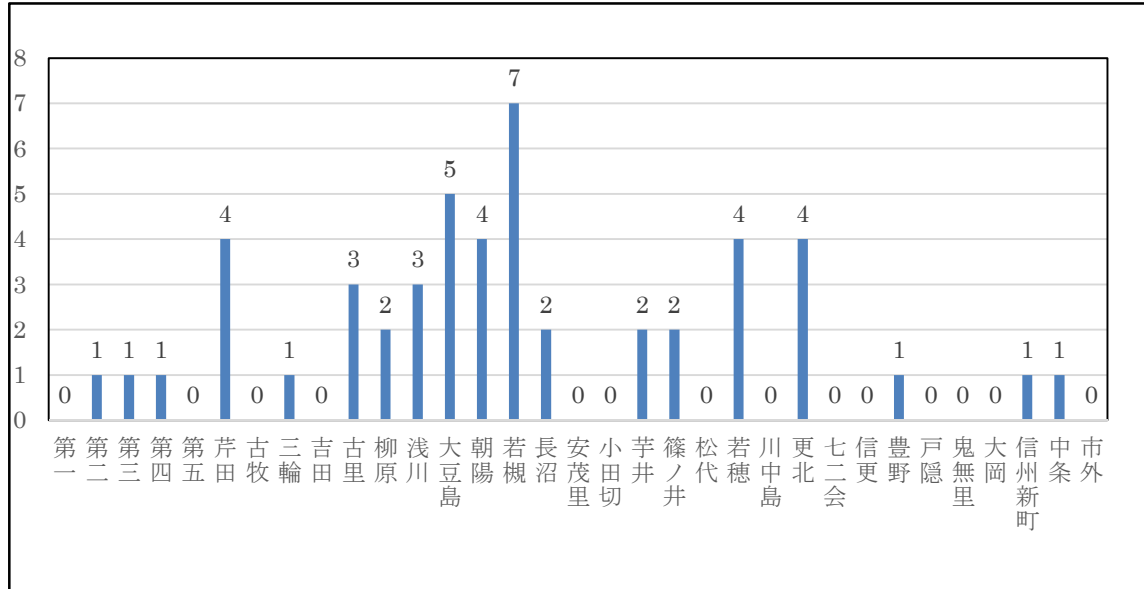
今回の市民と議会の意見交換会では、農業の後継者が不足し農業者が高齢化しており、農業の後継者を育成することは非常に困難な状況であるとのことをご意見をいただきました。特に中山間地では農業経営としては成り立たず、深刻な状況であることが確認できました。

これらの課題に対しては、認定農業者の育成、農業者の組織化支援、農作業支援により中心的な担い手となる農業者の育成を図る必要があります。また、新規就農者の支援、農業研修センターによる研修、企業の農業参入の促進による、新たな担い手の確保など、議員提案により制定された長野市農業振興条例に基づく長野市農業振興アクションプランの具体的な取組を注視し、調査・研究を進めていきます。

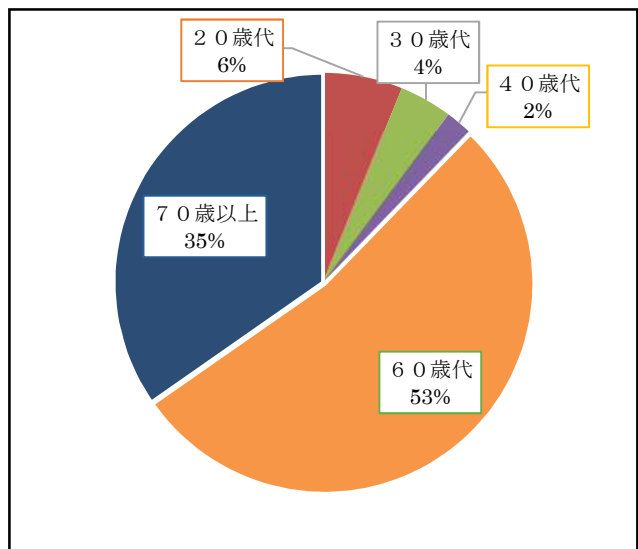
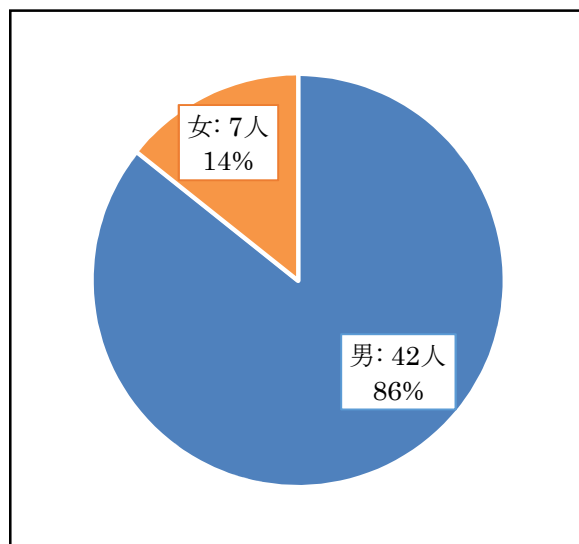
## Ⅲ. 参加者アンケートの結果

◆49名の方に参加していただき、全員にアンケートにご協力いただきました。

### ◆問1：お住まいの地区



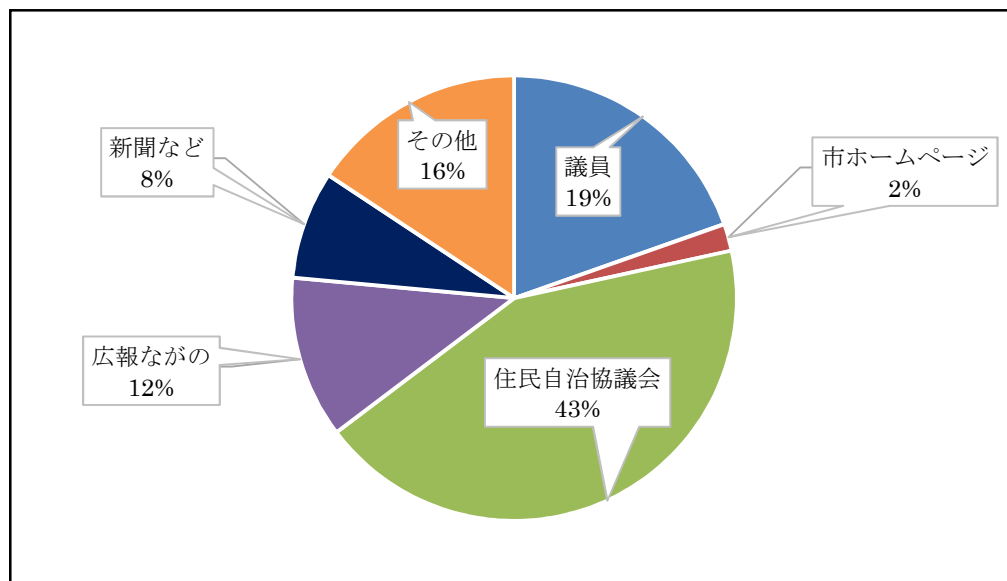
### ◆問2・問3：男女別・年齢別



参加者の9割近くが男性でした。年代別では60代・70代が43人で9割を占め、20代3人、30代2人、40代1人、50代0人でした。前回より40代50代の参加が減少しています。引き続き女性や若い世代の参加と全体の参加者をどう増やしていくのか対策の検討が必要です。

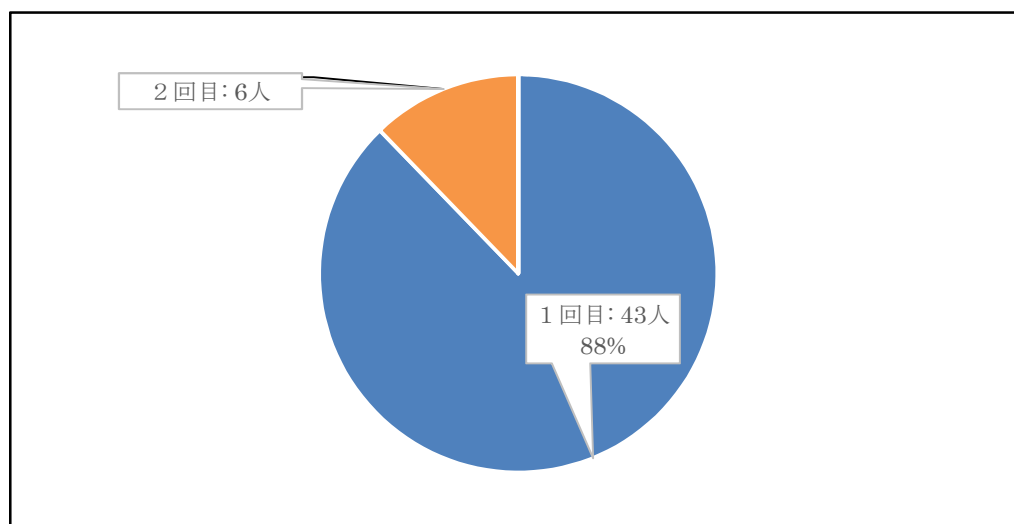


◆問4：意見交換会の開催情報は何かからお知りになりましたか



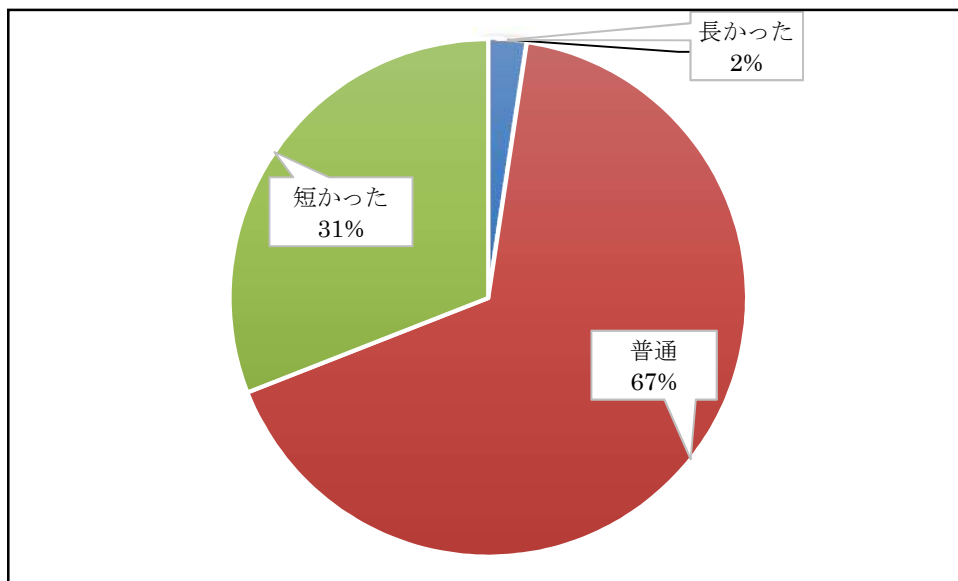
「住民自治協議会から」が43%で最も多く、「市議会だより」20.7%、「市ホームページ」10.3%とした昨年とは異なっていました。続いて「議員から」は19%となっています。その他として、若い方は、「市役所よりの案内」1人、「大学の先生から」3人となっています。また「農業研修センターから」1人、「農業委員会事務局から」3人という結果でした。意見交換会へのお誘いをしていただいた皆様に感謝します。

◆問5：平成25年度から昨年まで議会報告会は計4回開催していますが、今回の意見交換会を含めて何回参加されましたか



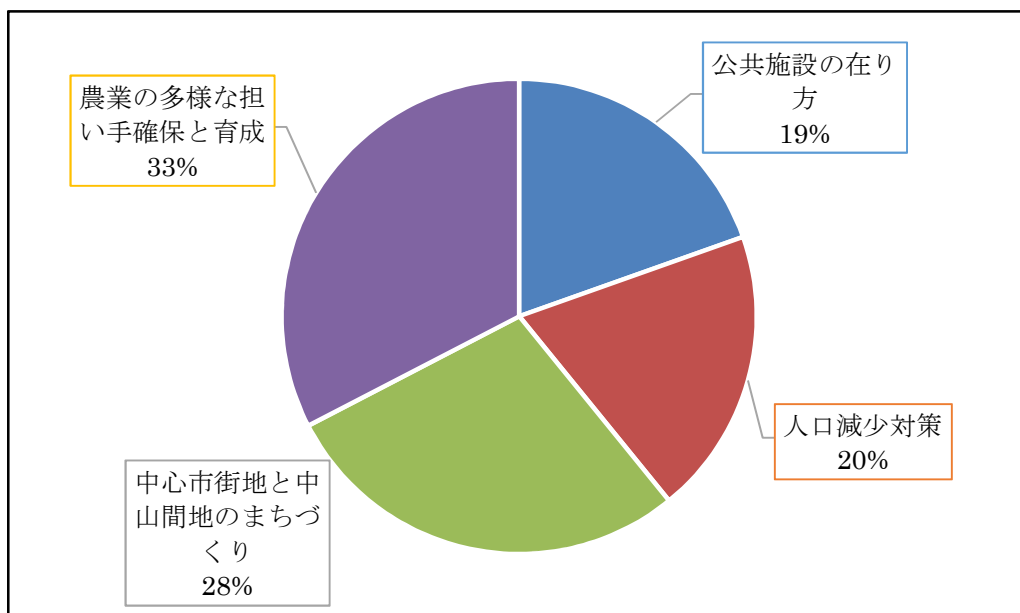
今回の特徴は初めて参加された方が約9割に上ったことです。3回以上の方は0人でした。2回目の方は6人で12%でした。今まで参加された方がほとんど来られなかったことは大変残念ですが、新たなスタートとして今回の教訓を生かしていきたいものです。

◆問6：意見交換会の時間はいかがでしたか



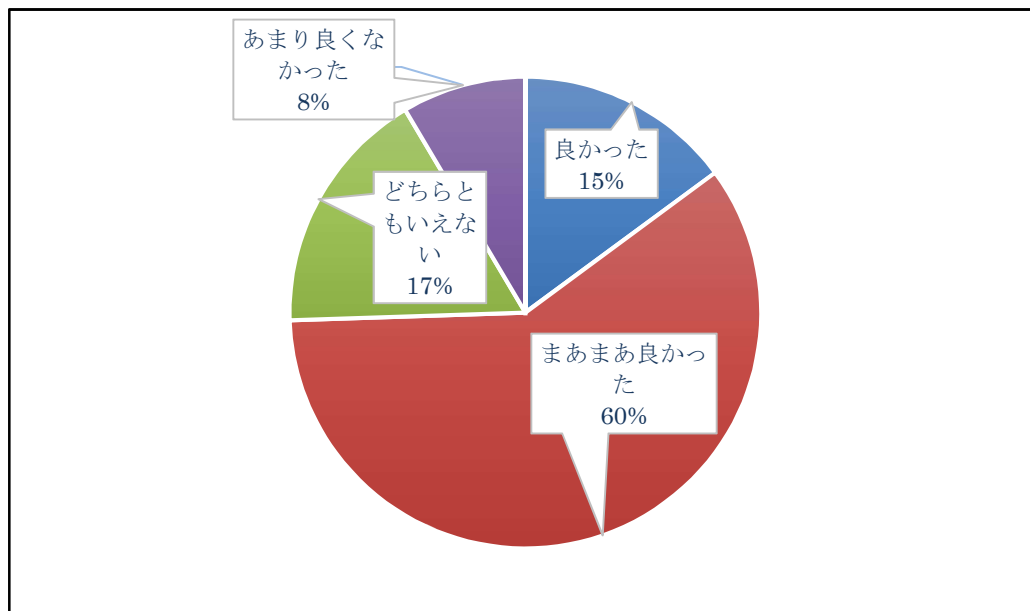
時間は概ね好評だったと思います。

◆問7：意見交換会はどの「テーマ」で参加しましたか



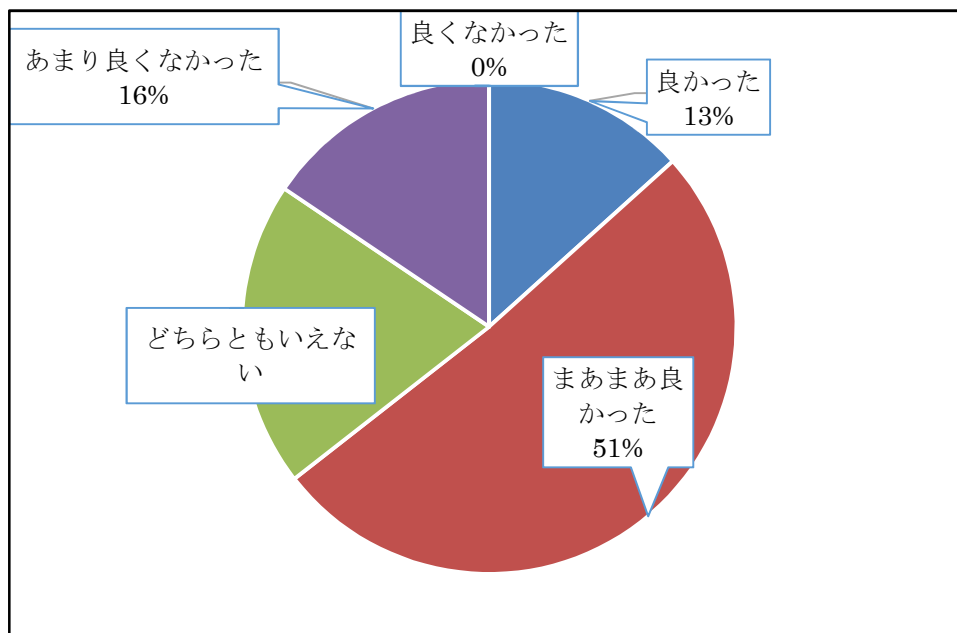
当初懸念されたような参加者数の大きな隔たりもなく、混乱せずにテーマ会場に移動し、意見交換会をスタートさせることができました。農業委員会などからの案内で参加された方が複数おられたため、農業のテーマへの参加者が若干多くなったと推察されます。

◆問8：意見交換会の「テーマ」はいかがでしたか今



約8割の方が「良かった」「まあまあ良かった」と概ね評価をしていただきました。その他として「防災対策について」「福祉課題」「地域の福祉対応と対策について」。また「中心市街地を論ずる前に旧市街地をテーマにした方が良い」「50年後のビジョンを共同で作しましょう」「もっとピンポイントで具体的なテーマ」というご意見が寄せられました。

◆問9：今回の意見交換会はいかがでしたでしょうか



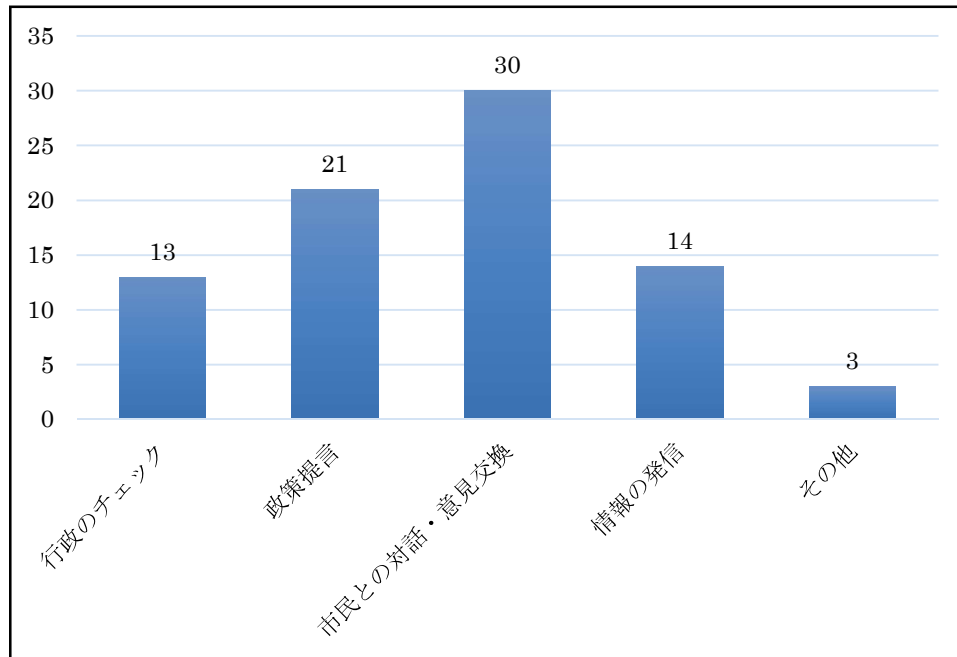
「良かった」「まあまあ良かった」を合わせると64%となりました。一方あまり良くなかったという感想も16%あり、すべての方に満足いただく会の運営は難しいと感じますが、さらなる検討が必要です。

◆問10：今後、意見交換会に望むこと、開催・運営方法等について、ご意見がありましたらお書きください

- ▶ 地域の課題について温度差があることは事実です。画一化することはよくないと思いますが情報の共有ということはしっかりしていかなければいけないと思います。
- ▶ 周知方法についてもう少し大きく知らせてほしい。
- ▶ 「意見交換会」ではなく「要望会」になってしまう。市議会側からの話もほしかった。
- ▶ いろいろな貴重な意見を聞いて良かったです。自らの救命ボートの件も、もっと沢山言いたかったです。
- ▶ 今回の意見交換会がどのように活かされるのか、というところまでフォローしていただきたい。
- ▶ 最近若槻支所で公共施設総合管理計画マネジメントの説明が出前講座としてありました。雰囲気的には市から説明を聞いて、終わりという感じでした。もう少し地域でも今日のような意見交換会ができればと思いました。次の機会には友人を誘って来ようと思いました。
- ▶ 多数の方の意見が聞いて勉強になりました。
- ▶ 資料など事前に配布できれば検討もできたと思う。テーマに関係のない発言は控えさせてほしい。
- ▶ 今回のテーマはすべて関連しているのに別々に考えると問題を解決できないと思う。意見交換会のフォーマットも変わった方が意見は出しやすくなると思う。ファシリテーションが必要です。
- ▶ 市民に関係する課題がほとんどで大変意義ある会だったと思います。
- ▶ 7月下旬は地域の行事も多いので、11月以降に時期を設定したらどうか。
- ▶ 開会式が長すぎる。時間がもったいない。
- ▶ 有意義でした。今後もよろしく。
- ▶ 市全体も良いが、ブロックごとに開催したらどうでしょう。
- ▶ 住民の声を聴いて行政に生かしてほしい。
- ▶ 意見交換会は良かったのですが、市民に対するPRが少し足りないように思います。
- ▶ 年に数回の開催を希望
- ▶ 参加者が9名で少しさびしかった。会場を各所に設けて数回開催できないものか。長野市の課題は少子・高齢化問題。移住したい地域の上位にある長野がもっと移住が容易になるよう施策の充実を求めたい。
- ▶ 「研究を行う」は具現化……。実現に向かって如何にすべきか……。次年度を期待。できるだけ多くの方に話してほしいので、一人の持ち時間を決めてほしい。マイクの響きが悪い。ダラダラしていて良くない。
- ▶ 中山間地の具体的課題の検討。市議のみなさんとの“意見交換”
- ▶ 資料は事前に配布してください。
- ▶ テーマからそれた意見が多かった。若い人の意見も含めて最後に良い意見が聞かれました。
- ▶ 新聞で知ったが、より多くの参加を得る方法を考えてほしい。農業従事者への働きかけも必要。
- ▶ この会はもっと回数を重ねてください。

- ▶ 中山間地の話が一つもなく資料もなかった。市はその地域で話をすること。中心市街地と中山間地は別の方が良い。
- ▶ なかなか意見交換会にならなかったと感じた。
- ▶ 地域への出前市議会を開催してほしい。
- ▶ 意見を生かしてください。

◆問10：今後、市議会に期待することはどのようなことでしょうか（複数回答可）



もっとも多くの人を選択したのが、「市民との対話・意見交換」（30人、37％）でした。昨年のアンケートでは「行政のチェック」20.3％、「政策の提言」23.4％、「市民との対話・意見交換」42.2％、「情報の発信」14.1％で、ほぼ同じ傾向です。

その他、記載があった意見は、「水害対策」「平和活動」「議員の質の向上」でした。

…ご協力ありがとうございました。